

目標達成計画

作成日: 令和元年5月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束のない、ケアの徹底 特にスピーチロックを職員全員で意識付けの徹底	毎日の関わりの中で、声かけを意識する。 職員間で、注意しあえる関係を築く。	毎日の業務の中で意識付け。 毎月1回の職員会議での研修・勉強会と業務の振り返りを行う。毎月1回の身体拘束のアンケートの実施し現状を把握する。	3ヶ月
2	20	入居されてからの、入居前の馴染みの関係が途切れないような環境を継続していく。	施設内での新たな馴染みの関係作りができる環境を作っていく。	友人や近隣の住民などの訪問や入居前の馴染みの場所への訪問など施設で新たな馴染みができるよう家族や近隣住民などの協力を得ながら開かれた施設作りしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。